

あかるいまち 21

No.1556 2022年11月22日
組合員活動推進課 082-532-1264

	11月	2022年度
組合員ふやし	98人	872人
出資金ふやし	443万円	8,369万円
純増	△296万円	232万円

生協強化月間の事業所の取り組み報告

生協強化月間期間も残り少なくなってきましたが、今回は事業所の取り組みをお伝えします。

まずは福島生協病院健診センターの取り組みです。健診センターは今年度の仲間ふやし目標を155名と決め、健診に来られる多くの方へ加入を呼びかけています。日常の取り組みとしては、健診にオプションを追加されている組合員ではない方へ声掛けをされています。前日に事務の方が対象者を抽出し、誘い文句も事前に準備。当日は職員全員で情報を共有し、みんなで声掛けを行うことを意識されているそうです。その成果は数字にも表れており、すでに90名を超える方に組合員となって頂いています。今回の強化月間では声掛け対象者を拡大したそうで、強化月間開始時に集中的に取り組むことで、9月にはなんと26名の加入の成果を挙げられました。



声掛け以外にも工夫されており、写真のようなチラシを作成。持ち運べるようにし、声掛けの時に健診オプションがどれだけ安くなるかの見える化をされています。また、同じチラシを健診ルーム・採血室と、受診者さんの目に触れやすい場所に貼り、アピールされているとのこと。

たくさんの方とつながり、組合員となって頂けるよう、引き続き取り組みをお願いします！

続いては生協さえき病院の取り組みです。

生協さえき病院では、特に4階病棟で仲間ふやしの取り組みがすすんでいます。理由を病棟師長にうかがったところ、まずは入院患者さん全員に担当看護師が組合員加入の説明をするそうです。日常の声掛けも、病棟のなかまふやし委員が中心となって声掛けをすすめられている模様。昨年実施した「達人講座」を受講した看護師も上手に説明をされているそうで、患者さんに適度な頻度で切れ目なく、声掛けを実施されている光景が目につきました。

また外来では、診察室の壁にポスターを貼り強化月間をアピールされています。こういったところからも仲間ふやしにつながっていくと嬉しいですね。



生協強化月間は11月末までですが、ひとりでも多くの方に組合員となって頂き、地域に安心のつながりを広めていきましょう。